

トルコ金融政策（2023年9月）

市場予想通り政策金利を30%に引き上げ

2023年9月22日

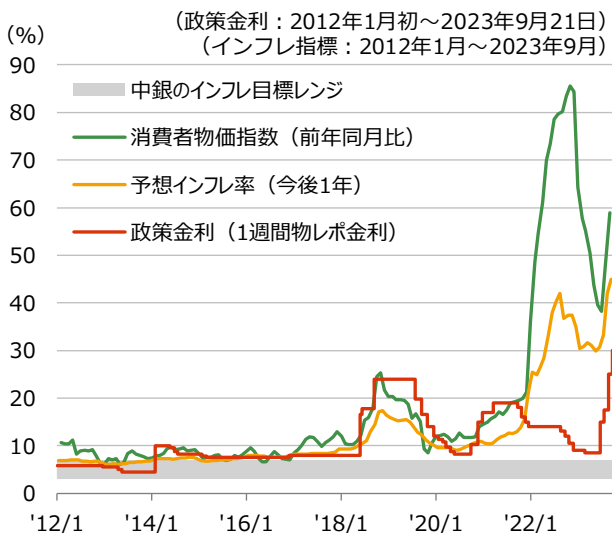
インフレ目標達成のために更なる利上げが必要に

トルコ中央銀行は9月21日（現地）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利（1週間物レポ金利）を25%から30%に引き上げることを決定しました。発表を受けた金融市場の反応は限定的でした。

声明文では、「インフレ期待を安定化させ、企業の価格設定行動を制御し、可能な限り早期にインフレ沈静化に向けた道筋を確立するために、金融引き締めを継続することを決定した」と説明しています。また、7月と8月のインフレ率が予想を上回ったことに触れた上で、内需の強さやサービス価格の粘着性、原油価格の上昇、インフレ期待の高まりがインフレ見通しの更なる上振れリスクになるとして警戒している様子です。今後の方針は、利上げを決定した過去3会合と同じく「インフレ見通しの大幅な改善が達成されるまで、適時かつ段階的に必要なだけ金融引き締めを強化する」としています。

直近の消費者物価指数は前年同月比58.9%、トルコ中銀集計の予想インフレ率（今後1年）は44.9%と、いずれも政策金利を大幅に上回っています。政策金利からインフレ率を差し引いた実質政策金利という観点では、金融環境はむしろ緩和的であり、更なる利上げが必要と考えられます。なお、エルドアン大統領は9月6日に「引き締め的な金融政策により、我々はインフレ率を再び1桁台に下げ、経常収支を改善させるだろう」と利上げを容認するような発言をしています。大統領の見解とトルコ中銀の方針が維持される限り、追加利上げ期待によりトルコ・リラ（対米ドル）の減価は緩やかなものにとどまると想定されます。

トルコの政策金利とインフレ指標



※消費者物価指数は2023年8月まで
(出所) ブルームバーグ、トルコ中央銀行

トルコ・リラの対円・対米ドルレート



(出所) ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。